春季肥料・農薬共同購入品目説明会を開催

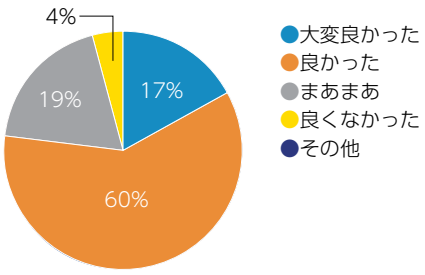
1月13日に開催しました春季肥料・農薬共同購入品目説明会には、リモート開催となりましたが、64名の組合員に参加いただきました。

共同購入など計画的・効率的な購入方法により組合員の生産コスト低減に取り組むなかで、春用の肥料・農薬と防曇袋やマルチなどの生産資材の注文取りまとめに合わせたおすすめ商品の説明とコスト低減に向けたお得な商品の提案をしました。

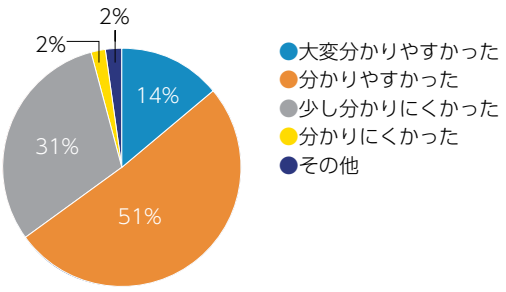
今回は説明会のアンケート結果と、質問に対する回答を掲載します。

▲熱心に視聴する参加者

●説明会に参加した感想



●説明会の理解度



●アンケートであがった質問に対する回答

Q エコレット等NPKの配合が異なりますが、地の質により使い分けることは分かりますが、どのように使い分けするのが望ましいのでしょうか。

A 施肥量は作物の種類・作型・目標収量によって異なり、これらに土壌や気候などの環境条件を加味して決めます。

エコレットの相違点

エコレット266は、化成肥料14:14:14と比較すると、リン・カリの成分量は低いですが下表の施用量を参考にしてください。

エコレット048は、チッソ成分の1/2が有機由来の成分となっているので特別栽培米等に使用できます。

エコレット一発647は、チッソ成分の1/2が被覆尿素（100日）を使用しているので栽培期間が長い作物に適しています。

10アール（1反）当たりの施用基準量

	野菜・果樹・花卉	水　稲
エコレット266	60～160kg	30～50kg
エコレット048	80～200kg	40～60kg
	果菜類	葉菜類
エコレット一発647	60～300kg	100～240kg

栽培される作物と前作の施肥内容をお知らせいただければ、肥料銘柄・施肥量（案）を提案させて頂きます。

下表の成分量の目安を参考に肥料の銘柄・施肥量を決めましょう。

収穫物100kgを生産するのに必要な成分量(kg)の目安

作物	チッソ	リン酸	カリ	カルシウム	苦土	備考
水稲	2.0	0.9	1.9	—	—	
コムギ	3.0	1.2	2.4	—	—	
ダイズ	6.9	1.4	1.8	—	—	
キュウリ	0.3	0.1	0.4	0.4	0.08	
トマト	0.3	0.1	0.5	0.2	0.05	
ナス	0.4	0.1	0.7	0.1	0.05	
イチゴ	0.6	0.2	0.8	0.5	0.2	
夏キャベツ	0.5	0.2	0.7	0.3	0.07	
レタス	0.4	0.1	0.8	0.20.	0.07	
ハクサイ	0.4	0.1	0.5	2	0.05	
ホウレンソウ	0.5	0.2	0.4	0.1	0.2	
カリフラワー	1.2	0.4	1.6	0.8	0.1	
ネギ	0.2	0.05	0.3	0.2	0.02	
タマネギ	0.1	0.06	0.2	0.1	0.03	
ニンジン	0.8	0.4	1.7	0.6	0.08	
ブドウ	0.6	0.3	0.7	—	—	5年生、デラウェア
カキ	0.6	0.2	0.5	—	—	9年生、次郎

営農経済部からのお知らせ

Q 肥料は置いておくと劣化していくと思いますが、有効期限はありますか？

A 肥料には製造年月日などの記載はありますが、有効期限はありません。年月を経ても成分が変化しにくい原料なので、有効期限はありません。しかし、固まって使いにくかったり、多少成分が分解される事も（有機肥料）あるので、できれば、**ワンシーズンで使用する事をお勧めします**。もし、使い残した場合は、**雨や日光の当たらない所で保管すると品質劣化を抑える事ができます。雨には特にご注意ください。**

Q スクミノンを食べることでジャンボタニシは駆除できますが、スクミンベイト3にはどのような特徴がありますか？

A スクミノンとスクミンベイト3には、それぞれ以下のような特長があります。

スクミノン 特長

有効成分：含有量：メタアルデヒド10.0%

- スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）に対し**食毒**で作用し、急速な麻痺を引き起こします。摂食したスクミリンゴガイは、死亡するか、**異常行動を示す**ようになり、**水稲を食害しません**。
- 湛水状態で処理直後から誘引効果を示します。
- スクミリンゴガイ以外の水生生物に対しては、影響の少ない薬剤です。

スクミンベイト3 特長

有効成分：リン酸第二鉄水和剤3.0%（鉄として0.87%）

- 有効成分の燐酸第二鉄は天然にも広く存在する成分です。
- 水生生物に影響が少なく環境にやさしい農薬です。
- **使用時期・回数の制限がない**ため、スクミリンゴガイ発生時に**いつでも散布できます**。
- **特別栽培農産物でも使用回数をカウントされません**。
- **食害防止**を主として**殺貝も可能**なWの効果があります。

薬剤を摂取したスクミリンゴガイは、すぐに食欲をなくし、過剰に取り込まれた「鉄」が、内臓機能を破壊するので、弱ったスクミリンゴガイは**エサを食べられずに4、5日後**には死んでしまいます。

注：**行動抑制等により食害を防止する剤**（**スクミハンター、パダン粒剤4**）の併用は行動抑制によって殺貝剤の効果が低下します。このため、併用する場合は**食毒剤**（**スクミノン・スクミンベイト**）を処理してから**7日後以降に食害防止剤を処理**し、**食毒剤を処理する前に食害防止剤を処理することは控えましょう。**

●LINE公式アカウント「営農タイムリー」でも
旬な営農情報を随時発信中!!
登録はこちらから

肥料価格高騰対策事業スケジュールのお知らせ

いっぷく1月号（NO.276）の14ページでお知らせしています「肥料価格高騰対策のご案内」について、今後のスケジュール等が決まりましたのでご案内します。

提出期日の変更について

JA京都市で申請される方の
「化学肥料低減計画書」の提出期限を延長します

2023年1月31日まで

▼

2023年6月9日までに延長

※これまでのスケジュールでは、2022年度国予算のため、2022年6月～2023年1月までに発注・購入した肥料について取りまとめ3月上旬に申請し年度内で完結をするよう進めておりましたが、国の予算繰越により京都府では1回目（2022年6月～2023年1月までに発注・購入した肥料）と2回目（2023年2月～2023年5月までに発注・購入した肥料）に分けて申請することになりました。
しかし、JA京都市では、京都市農業者等経営改善支援事業の申請内容との重複分について精査をする時間を要することから2回目に一括申請することとします。

今後のスケジュールについて

申請者 → JA京都市	化学肥料低減計画書提出締切	2023年6月9日まで
JA京都市 → 申請者	支援金支払	2023年9月下旬予定
申請者 → JA京都市	化学肥料低減実施報告書提出締切	2024年12月末日まで

※取組実施後、速やかに提出してください

●注意点

※肥料の購入予定のある販売農家の皆様は、支援の対象になることがあります。計画書が未提出の方は、提出をお願いします。

※肥料販売店やグループで申請される方は申請方法等が異なる場合がありますので、直接販売店などにお問い合わせください。

その他不明な点は、管轄の当JA本支店または、管轄する京都市各農業振興センターへお問い合わせください。